



おおこうちだより

～口腔アレルギー症候群～

Vol.
45

口腔アレルギー症候群って？

口腔アレルギー症候群は、生の果物や野菜などを食べたあとに、唇や口の中、のど、耳の奥などにかゆみや腫れ、痛みなどを感じるものです。このアレルギーは特定の植物の花粉症と関連があると言われています。花粉アレルギーのある方が、その花粉と似たアレルゲン(たんぱく質)をもつ果物など(※表1)を食べた場合に、交差反応を起こして発症するものです。

口腔アレルギーにおけるアレルゲンは小腸に到達する前に壊れるため、主に口の中だけで反応が起きます。中にはアナフィラキシーショックを起こす場合もあります。

症状

食物摂取後15分以内に局所または全身症状を認めます。










全身症状:じんましんなどの皮膚症状、気管支喘息症状、ときにアナフィラキシーショック。

局所症状:口、唇、喉などの口腔粘膜にかゆみ、ピリピリ・イガイガ感、ムズムズ、つっぱる、喉が詰まる感じ、腫れなど。咽喉頭部の浮腫、水疱。耳の奥にかゆみや腫れ、痛み。

👉 ゴムと果物のアレルギーの関連性 🍌

ゴム手袋をすると手が痒くなるなどの経験がある方は、アボカド、キウイフルーツ、バナナ、パイナップル、栗などを食べた時に、口の中の違和感や蕁麻疹などの症状を引き起こす事があります。これをラテックス・フルーツ症候群といい、アナフィラキシーショックを起こすこともあります。

花粉との交差反応が報告されている果物 (表1)

花粉症	果物
スギ	トマト 
シラカンバ	リンゴ、桃、 サクランボ   
イネ科	トマト、スイカ、 メロン、オレンジ  
ヨモギ、 ブタクサ	メロン、スイカ、 セロリ   

対策

花粉症で口の中に症状がある場合には、医療機関を受診し、アレルギーの原因となる食物を確認して避けるのが基本です。ただ、口腔アレルギーを起こす果物や生野菜のアレルゲンは熱に弱く、加熱すれば食べることができる場合もあります。症状のあらわれ方は、人により異なりますので、医師に相談してみましよう。



当院でもアレルギー検査を行っております。
何か症状があったり、相談したいことがあればぜひ当院へ！

